

# 第4回 阿賀野川自然再生 モニタリング検討会

## 早出川での今後の整備について



阿賀野川河川事務所

平成28年3月

# 1 早出川砂礫河原の再生：現状と課題

- ・ 流下能力の増大、水衝部の解消及び蛇行部の整正を図るため早出川捷水路事業を実施。
- ・ 捷水路整備前には砂州が広がり、河道の蛇行とともに多様な流れが形成されていた。  
→捷水路事業により河道が直線化され、流れが単調化することで、ワンドなどが減少

## 捷水路事業イメージ



## 捷水路事業前



かつての早出川[S59. 5]  
(三本木橋より下流方向を望む)

## 捷水路事業後



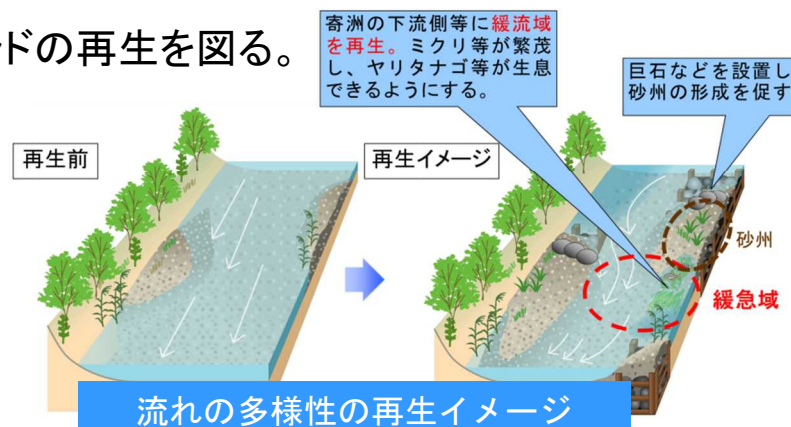
現在の早出川[H24. 10. 19]  
(桑山大橋上流付近)

## 【短期的目標】

- ・ 流れの多様性を回復させ、礫河原やワンドの再生を図る。



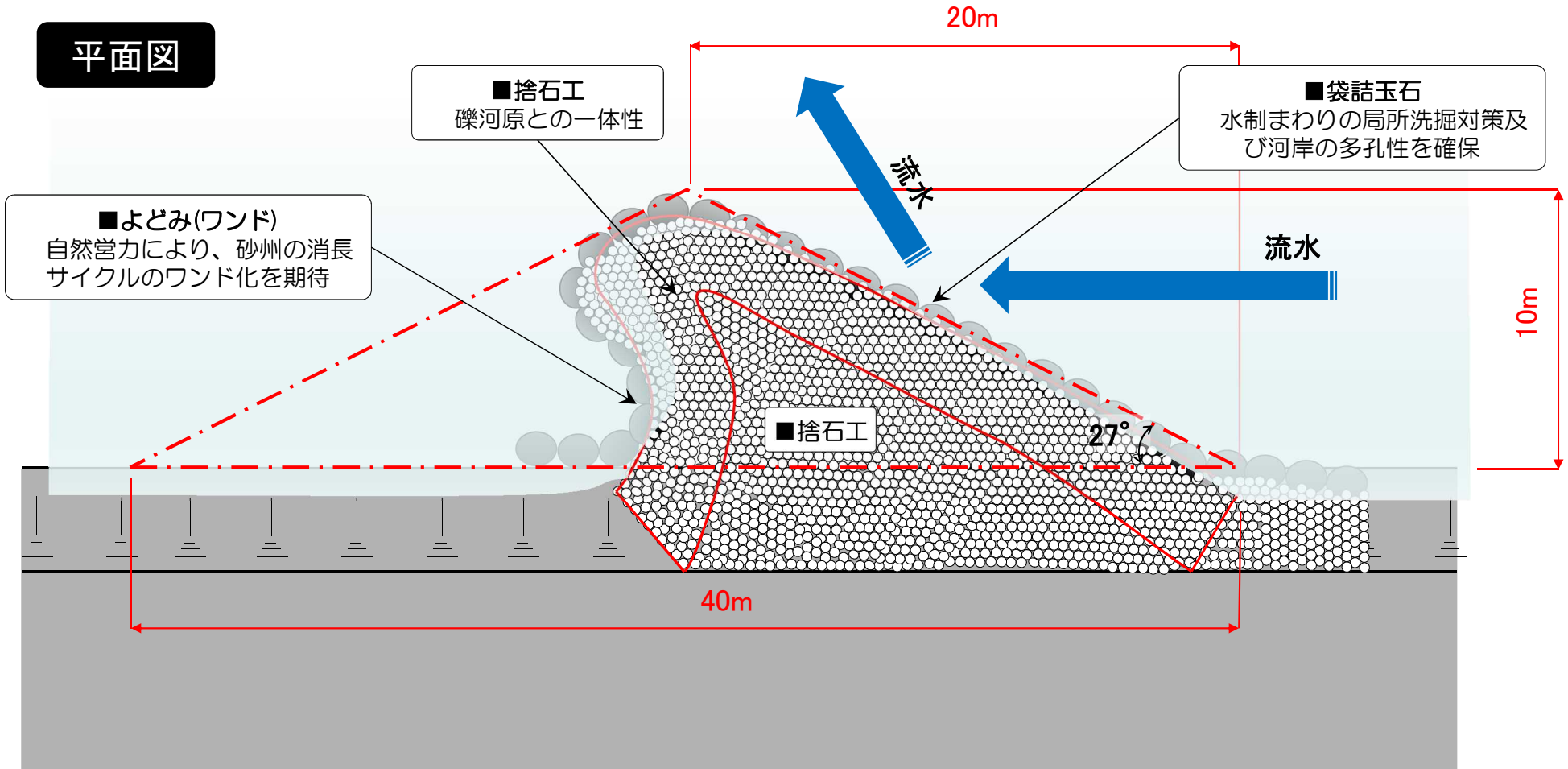
早出川県管理区間の良好なワンド



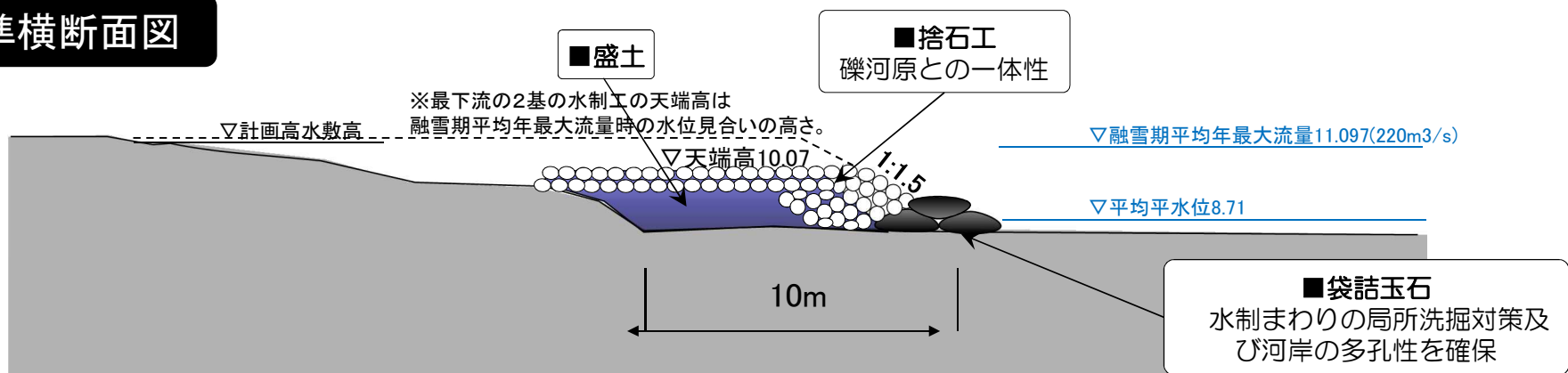
流れの多様性の再生イメージ

## 2 早出川砂礫河原の再生: 水制工模式図

平面図



標準横断面図



※配置間隔・構造・形状については、今後のモニタリング等により変更となる可能性があります。

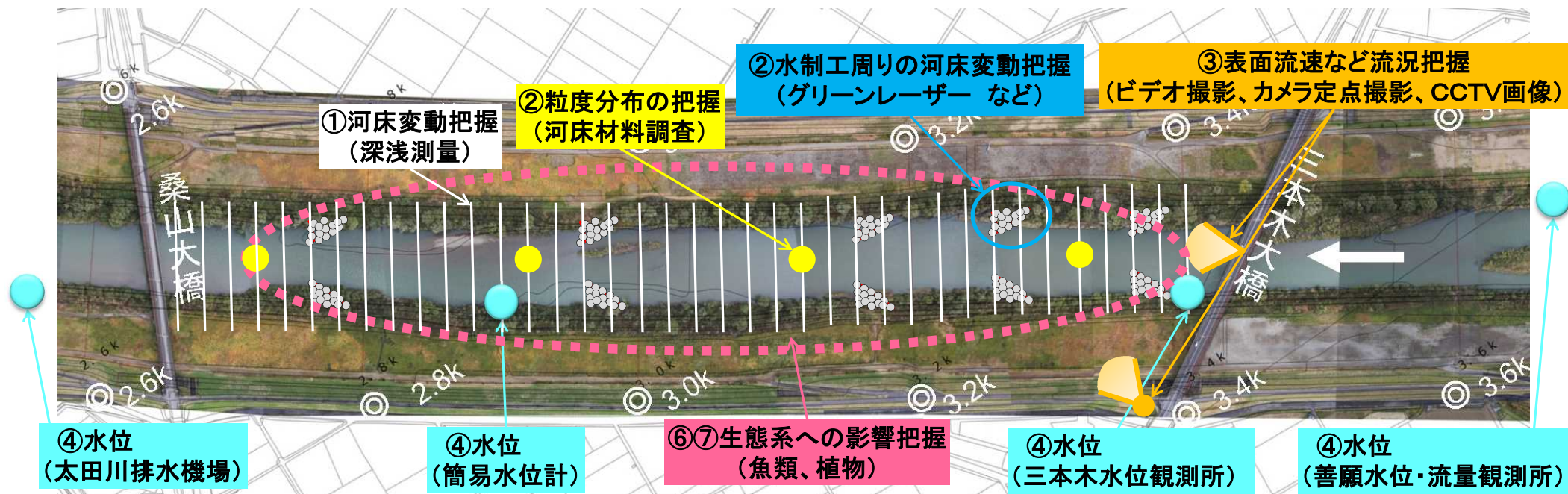
#### 配置イメージ



※配置間隔・構造・形状については、今後のモニタリング等により変更となる可能性があります。

## ●早出川モニタリング調査(案)

目的	調査手法
①河床変動把握	深浅測量(20mピッチ)
②粒度分布の把握	河床材料調査(200mピッチ)
③水制工周りの河床変動把握	グリーンレーザーなど
④表面流速など流況把握	橋からのビデオ撮影・カメラ定点撮影、CCTV画像を用いた画像解析 PIV(Particle Image Velocimetry)など
⑤水面形の把握	水位観測所、簡易水位計
⑥生態系への影響把握(魚類)	定置網、投網、タモ網等による採捕
⑦生態系への影響把握(植物)	植物相調査



※調査位置はイメージです。

※配置間隔・構造・形状については、今後のモニタリング等により変更となる可能性があります。

空中写真撮影日:  
平成26年11月16日